



長久手市議会議員
佐野尚人
Naoto Sano



長久手市議会議員
山田けんたろう
Kentaro Yamada



長久手市議会議員
なかじま和代
Kazuyo Nakajima



長久手グローバルネット 検索

長久手グローバルネットの活動が2年目に入りました。一年間、会派として活動し、新聞を2回発行、議会報告会を一回行いました。予算要望など会派での提案も行い会派としての活動も順調に重ねることができました。吉田市政も2期目になりましたが、市長の理念を行政サービスに展開させることに苦勞をしている感があります。漠然とした理念をかたちにできるよう長久手グローバルネットからも具体的な提案をしていきます。今後ともご意見賜わりますようよろしくお願いいたします。

<http://nagakute-global.net>
バックナンバーはこちらからご覧いただけます

会派報告

5月12日会派長久手グローバルネットの議会報告会を開催しました。

平成28年度予算要望

平成28年度予算編成に関する会派要望に対して予算がつきました。

- ・障がい児、障がい者をトータルでサポートできる支援センター設置(1,316万円)
- ・通学路白線の優先的な補修(1,500万円)
- ・各小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置(1,096万円)
- ・図書充実(885万円)
- ・防犯カメラの適正な設置(525万円)
- ・外来種駆除と環境保全(307万円)
- ・大型商業施設建設地域での渋滞対策(290万円)
- ・警固祭りの保護と関与(200万円)

他

移動式
赤ちゃんの駅 (19万円)



まち・ひと・しごと創生総合戦略への要望

3月に長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されました。

継続事業を含め、2019年度までの5か年の施策を計画したもので、会派からの提言、個人の提言が具体的に計画に組み込まれました。

出産祝い事業
木のおもちゃ支給

休日保育の実施

学校ヘルパー制度

インターンシップ
バンク制度



●長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略●

長久手市の人口の現状を踏まえ『一人ひとりに役割と居場所があるまちづくり』を戦略の根底に据えて、**役割・しごとづくり、子育て支援、地域コミュニティ・地域福祉、観光交流**の4本の柱を切り口に、『幸福度の高いまち=日本一の福祉のまち』を目指し、進めるものです。

視察報告

視察は豪遊＝無駄のような残念な報道が続いていますが、会派グローバルネットは、自家用車を使い全体経費¥23,068(一人)で視察してきました。

埼玉県さいたま市

『さいたま自転車ネットワーク整備計画』に基づき、自転車の利用促進と道路整備を実施しているさいたま市を視察しました。

「はしる」「とめる」「まもる」の3本の柱で施策をたて、駅には貸自転車の新しいかたちコミュニティサイクルを設置、道には自転車が安心して走行するための様々な工夫が施されています。

平成22年から市内の全小学校で、『子ども自転車運転免許』を実施しています。免許取得には、安全講習に加え、筆記と実技のテストが行われます。合否は問わず、運転免許を発行しますが、事故は減少しています。



長久手市へのフィードバック

学生の多い長久手市では、自転車マナーの向上が課題となっているが、公道を走り始める小学生へ、実技を含めた講習(免許証発行)は有効です。今後、開発が進む地域の自転車の安全な走行環境創出とともに早急に図っていききたい。



東京都世田谷区

長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略で実施予定の『プレーパーク事業』を1970年代より展開している世田谷区の先進事業を視察しました。

可能な限り禁止事項をなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」のモットーのもと、子ども達の好奇心、創造性を最大限に尊重し、引き出すことを目指した遊び場です。自由な遊びの中から子どもの自主性、主体性、社会性、コミュニケーション力が育つ環境を提供しています。事故も自己責任ですが、開園時間にプレーリーダーと呼ばれる見守り導く大人が常駐しています。火や水を使う、小屋を建てるなどに地域の方の理解が必要です。

長久手版は、平成こども塾での不定期開催を計画しているが、『子どもの遊びは日常的なもの』である原点に立ち、地域の子どもたちが日常生活の中で利用できる運営とすべきです。子どもの屋外遊びの良さを周知するとともに、地域で子どもたちを支える大人、運営団体の育成を図られるようにしたい。

議会報告会

会派の議会報告会を交流プラザで開催しました。『平成28年度予算要望』『まち・ひと・しごと創生総合戦略』『会派視察』の報告後に意見交換をさせていただきました。

報告会の中でいただいたご意見、ご質問を紹介させていただきます。

Q.災害時の議員の対応はどうか。また避難所開設のために、地域の議員が小学校体育館の鍵を持たないか。

A.議会基本条例の中の『災害対策行動マニュアル』に従います。災害発生24時間以内においては、議長・副議長は議会控え室に待機、その他の議員は、自身の安全を確保したうえで、居住地域等において救援・救護活動をするとともに、情報収集に努めることになっていきます。

議員の災害時の基本姿勢は、「長久手市災害対策本部」が迅速、かつ円滑に応急活動ができるよう最大限の協力、支援をします。

体育館の鍵は、現状では議員が管理することは馴染まないと考えます。誰が管理するのが一番迅速に対応できるのかを十分に検討していきます。

Q.放課後子ども教室の拡充について。

A.子ども・子育て支援新制度の中でも拡充するように求めています。長久手市も未整備の校区があり、空き教室にとられることなく、学校の敷地内に確保できるように求めています。北小学校においては今年度実施される増築校舎の設計に盛り込むよう求めています。

Q.大規模災害時の市役所の耐久性、亜炭鉱跡につて。

A.長久手市の公共施設の耐震工事は概ね完了しています。亜炭鉱跡については区画整理事業ごとに充填工事を行ってきました。



ご意見やお困りごとがあれば、お気軽にご相談ください。

長久手市議会会派

長久手グローバルネット

※この活動報告は、政務活動費の一部を使用しています。

mirai@nagakute-global.net

発行責任者:佐野尚人 長久手市議会議員
〒480-1114 愛知県長久手市長配1丁目707番地2

長久手グローバルネット 検索

<http://nagakute-global.net>